

令和2年度第1回 まち・ひと・しごと創生推進委員会

【説明資料】

- 令和2年11月17日(火)
- 総合福祉会館

現行の 総合戦略・人口ビジョンの考え方について

1. 総合計画と総合戦略の違い

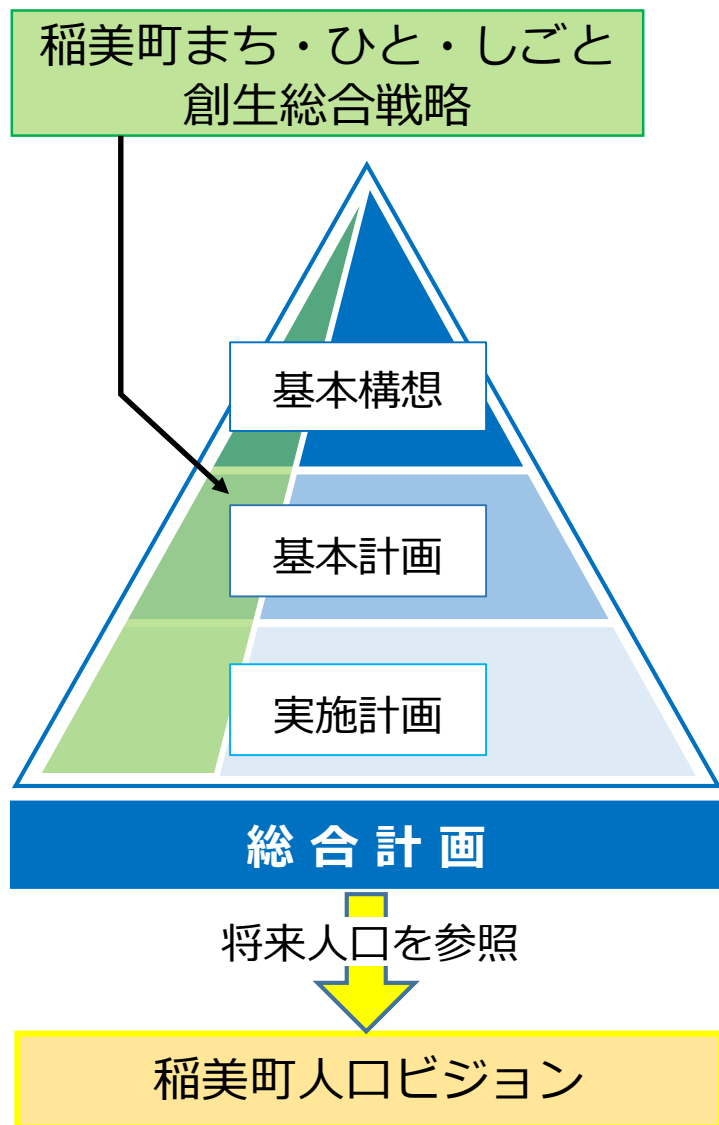
2. 稲美町の人口ビジョンについて

3. 稲美町の特徴

4. 現行の人口ビジョンの推計方法

5. 戦略の考え方

1. 総合計画と総合戦略の違い



○総合計画

総合的・計画的な町政の運営を図るための町の最上位計画で、各行政分野の個別計画の上位計画にあたり、個別計画を策定、実施していく際の指針となるもの。

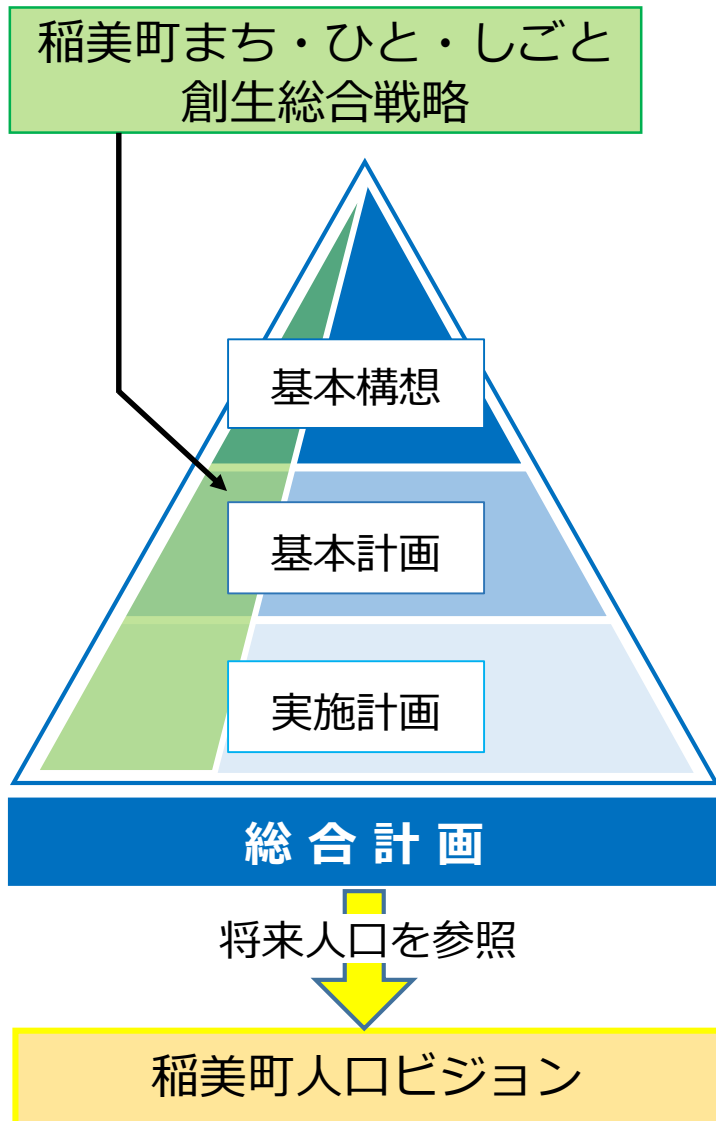
○稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略

人口ビジョンを実現していくため、地域の実情に応じた5年間の施策の方向を示すもの。

○人口ビジョン

人口の減少傾向を抑制し、就労機会の増加を図ることによって、人口減少の克服と活気ある稲美町の創生を図るため、人口の現状分析と将来の展望を示すもの。

1. 総合計画と総合戦略の違い



○総合計画

【概要】町の最上位計画

(内容) 施策全般に及ぶ

(期間) 基本構想：10年間

基本計画：5年間

実施計画：3年間（毎年度内容検討）

○稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略

【概要】人口ビジョンを実現するための戦略

(内容) 総合計画のうち地方創生に関するもの

(期間) 5年間（第1期は2年間延長）

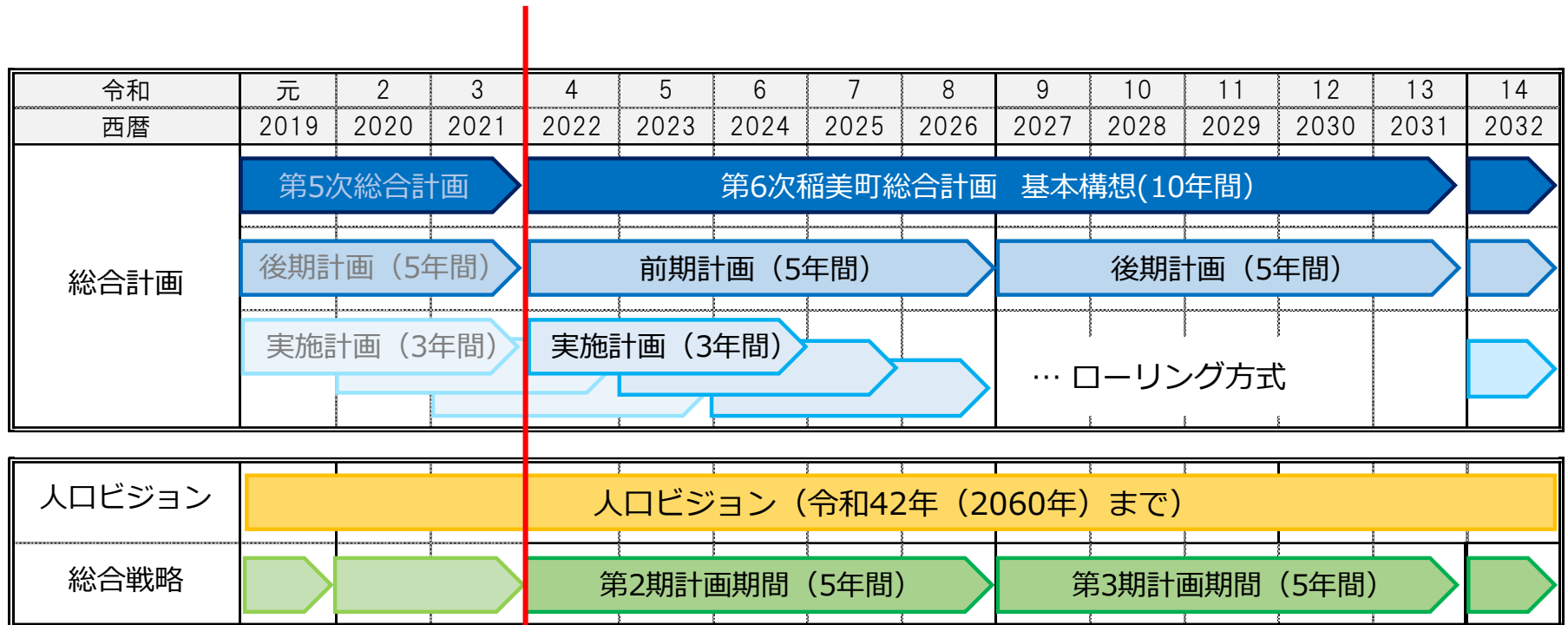
○人口ビジョン

【概要】人口の現状分析と将来の展望を示す

(内容) 今後目指すべき将来の方向性

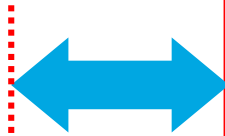
(期間) 令和42年（2060年）まで

1. 総合計画と総合戦略の違い



第1期計画期間(5年間)

+ 2年間の延長



**総合計画と総合戦略を
同時に策定していきます**

1. 総合計画と総合戦略の違い

	戦略		その他	
	戦略本部	推進委員会		
R2	4月			
	5月			
	6月			
	7月			
	8月			
	9月		住民意向調査	
	10月			
	11月	●	●	
	12月			
	1月	●(例年分)		
	2月		●(例年分)	
	3月			
	R3	4月		
5月				
6月		●		
7月			●	
8月				
9月		●		
10月			●	パブコメ・100人会議
11月				
12月				
1月		●(例年分)		
2月			●(例年分)	
3月				議決

今後のスケジュール

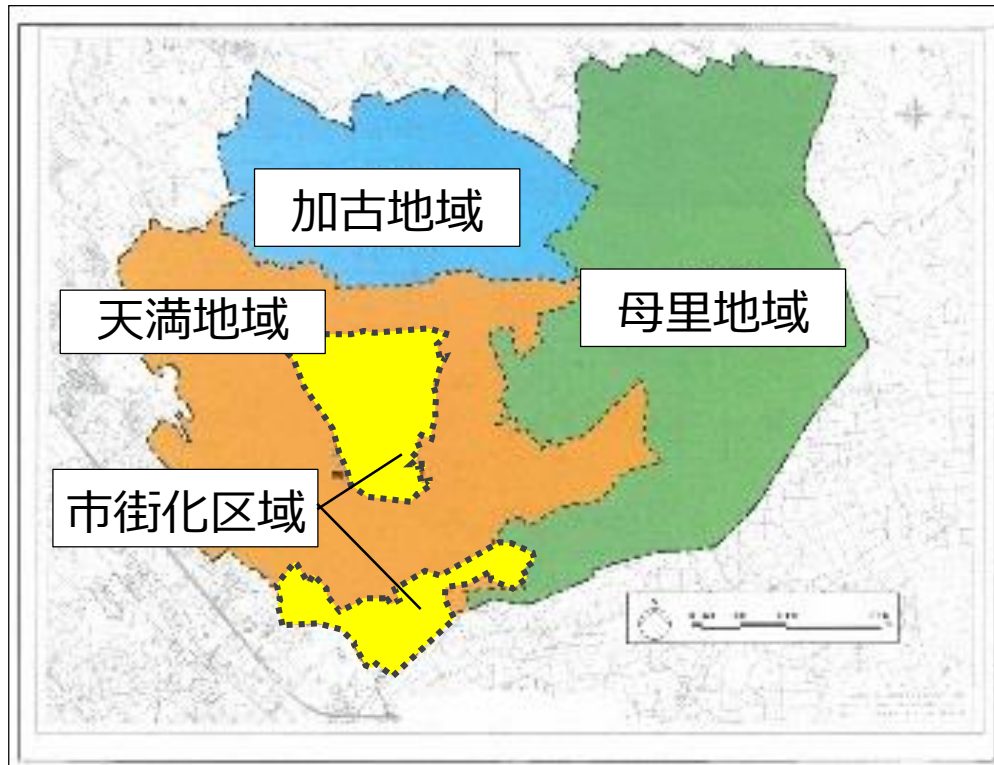
令和2年度：1回開催予定（計2回）

令和3年度：3回開催予定

※例年分は、毎年行っている、
稲美町まち・ひと・しごと創生総合戦略の
進捗状況の確認が主な議題の会です

**長丁場となりますが、
どうぞよろしく願いたします。**

2. 稲美町の人口ビジョンについて(人口分布)



14年間の推移

- 加古地域 : -645人
- 母里地域 : -1,078人
- 天満地域 : 174人
- (市) : 1,340人
- (調) : -1,166人

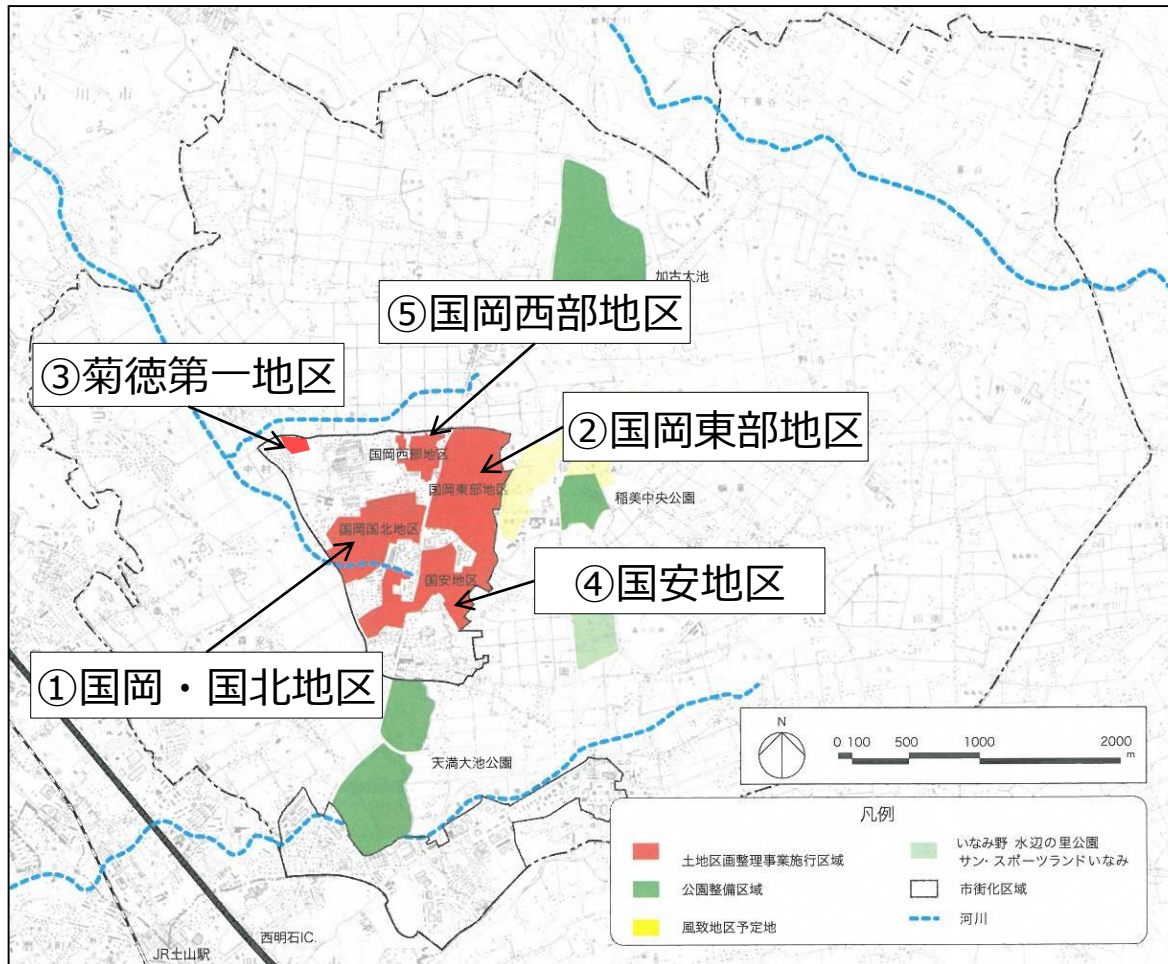
加古・母里及び天満地域の市街化調整区域では、厳しい建築制限があるため、地区計画や特別指定区域制度に取り組んでいるが人口は減少。

	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	H31年
加古	4,906	4,845	4,835	4,833	4,808	4,723	4,655	4,588	4,570	4,532	4,487	4,445	4,376	4,322	4,261
母里	6,325	6,172	6,101	6,057	5,976	5,870	5,804	5,730	5,698	5,597	5,560	5,465	5,439	5,341	5,247
天満(市)	12,826	12,534	12,539	12,832	12,676	12,751	13,239	13,120	13,607	13,719	13,858	13,943	13,967	14,019	14,166
天満(調)	8,630	8,835	8,837	8,434	8,502	8,417	8,002	8,165	7,936	7,897	7,745	7,686	7,622	7,577	7,464
天満(合計)	21,456	21,369	21,376	21,266	21,178	21,168	21,241	21,285	21,543	21,616	21,603	21,629	21,589	21,596	21,630
3地区合計	32,687	32,386	32,312	32,156	31,962	31,761	31,700	31,603	31,811	31,745	31,650	31,539	31,404	31,259	31,138

(人)

(出典：各年住民基本台帳)

2. 稲美町の人口ビジョンについて(人口分布)



① 国岡・国北土地区画整理事業

- ・ 施行面積：27.0ha
- ・ 施行期間：昭和57年
～平成8年

② 国岡東部土地区画整理事業

- ・ 施行面積：35.4ha
- ・ 施行期間：平成4年
～平成18年

③ 菊徳第一農住土地区画整理事業

- ・ 施行面積：0.7ha
- ・ 施行期間：平成21年
～平成23年

④ 国安土地区画整理事業

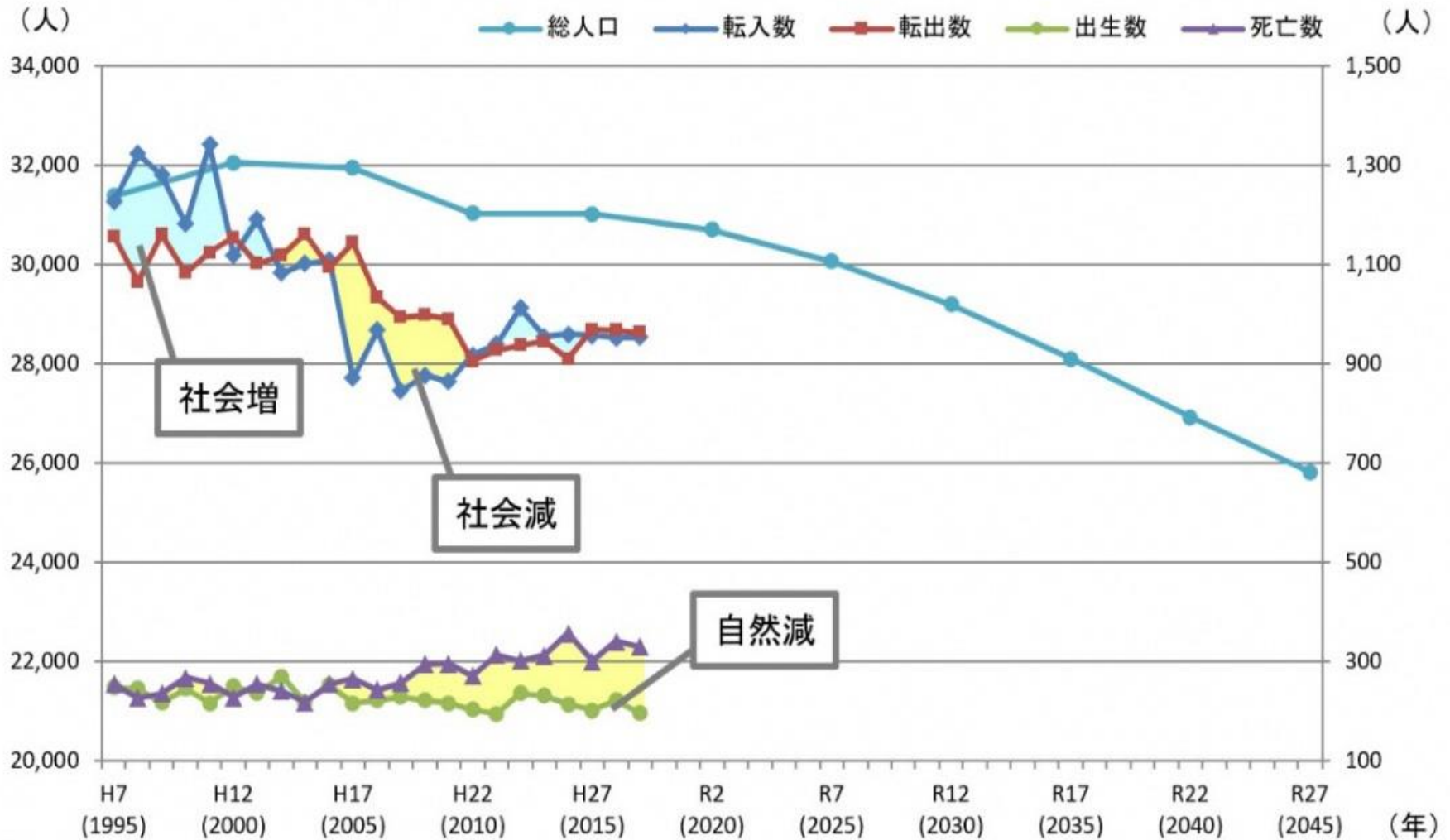
- ・ 施行面積：26.2ha
- ・ 施行期間：平成13年
～令和2年

⑤ 国岡西部土地区画整理事業

- ・ 施行面積：6.6ha
- ・ 施行期間：平成15年
～平成24年



2. 稲美町の人口ビジョンについて(転入出)



(出典：稲美町統計書)

2. 稲美町の人口ビジョンについて(転入出)

年	社会動態		自然動態		社会 増減	自然 増減	人口 増減
	転入数	転出数	出生数	死亡数			
H7(1995)	1,226	1,157	247	254	69	-7	62
H8(1996)	1,323	1,065	245	226	258	19	277
H9(1997)	1,280	1,161	217	236	119	-19	100
H10(1998)	1,181	1,083	245	267	98	-22	76
H11(1999)	1,341	1,124	215	256	217	-41	176
H12(2000)	1,118	1,155	250	227	-37	23	-14
H13(2001)	1,191	1,101	235	254	90	-19	71
H14(2002)	1,083	1,118	269	240	-35	29	-6
H15(2003)	1,102	1,162	218	218	-60	0	-60
H16(2004)	1,108	1,095	252	254	13	-2	11
H17(2005)	871	1,144	216	265	-273	-49	-322
H18(2006)	968	1,033	221	242	-65	-21	-86
H19(2007)	845	993	228	257	-148	-29	-177
H20(2008)	877	998	222	295	-121	-73	-194
H21(2009)	864	990	215	296	-126	-81	-207
H22(2010)	917	905	202	271	12	-69	-57
H23(2011)	939	927	194	313	12	-119	-107
H24(2012)	1,012	937	236	302	75	-66	9
H25(2013)	954	945	231	312	9	-81	-72
H26(2014)	959	910	213	357	49	-144	-95
H27(2015)	957	969	201	300	-12	-99	-111
H28(2016)	952	968	221	340	-16	-119	-135
H29(2017)	953	963	195	330	-10	-135	-145
H30(2018)	1,026	979	166	334	47	-168	-121
H31(2019)	1,005	969	163	341	36	-178	-142

(人)

(出典：～H30 稲美町統計書)

(出典：H31 住民基本台帳)

3. 稲美町の特徴

合計特殊出生率

	H27 (2015)
全国	1.45
兵庫県	1.48
東播磨地域	1.56
明石市	1.58
加古川市	1.56
高砂市	1.52
稲美町	1.36
播磨町	1.66

(出典：平成27年国勢調査)

一人の女性が生涯に何人の子どもを産むかを推計したもの

稲美町は比較すると大きく下回る

分析

出生率が低いものの、転入等で子どもの人口は増えている

子ども女性比等

0～5歳未満の人口 / 15～50歳未満の女性人口

子ども女性比	稲美町	明石市	加古川市	高砂市	播磨町	東播磨地域 合計
15～50歳未満の女性の数	5,918	62,745	55,780	18,475	7,160	150,078
0～5歳未満の子どもの数	1,243	13,104	11,440	3,601	1,615	31,003
女性1人当たりの子どもの数	0.2100	0.2088	0.2051	0.1949	0.2256	0.2066

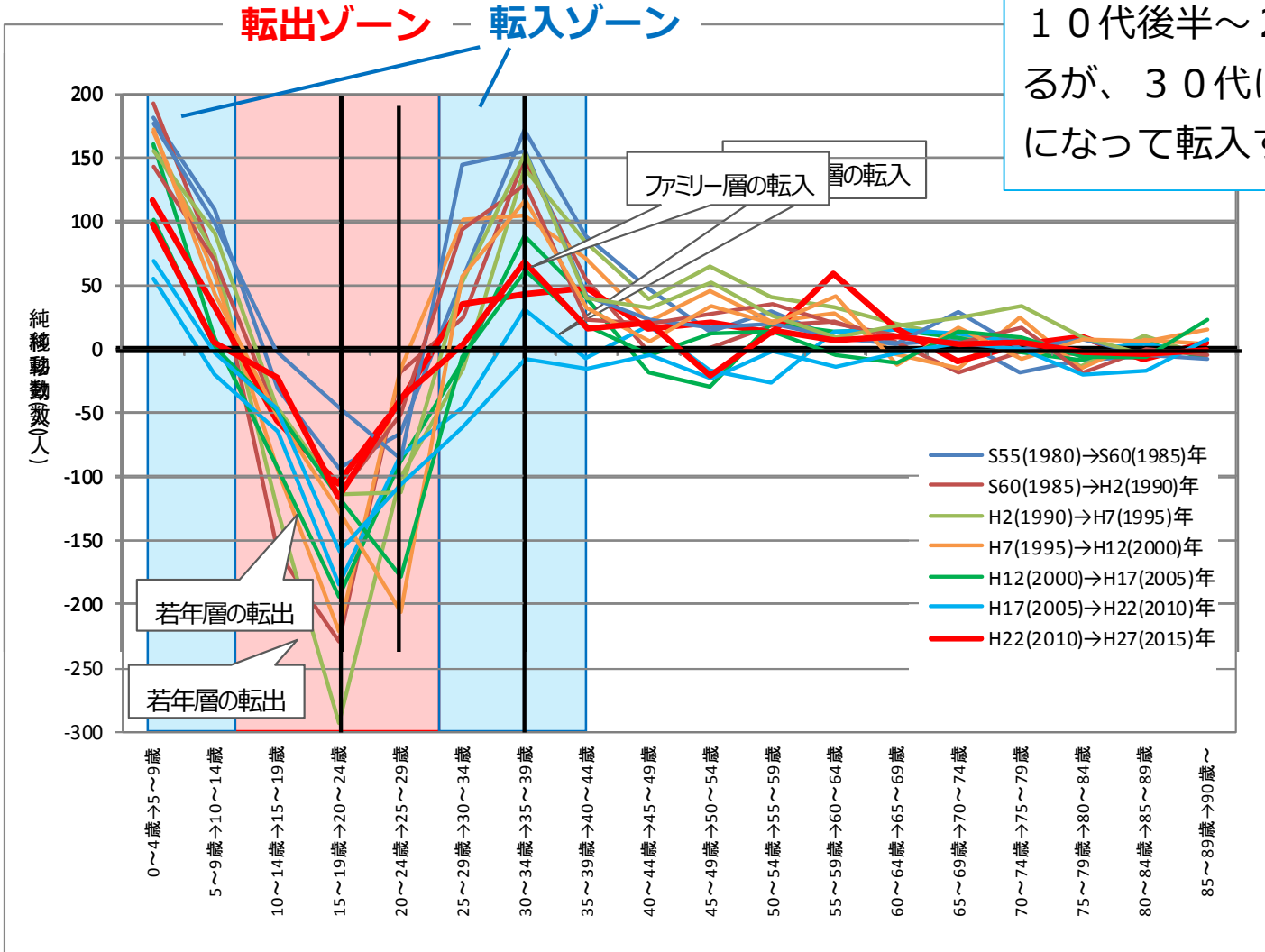
しかし、女性1人あたりの子どもの数は近隣市町と変わらない

3. 稲美町の特徴

年齢階級別人口移動の推移【男女合算】

分析

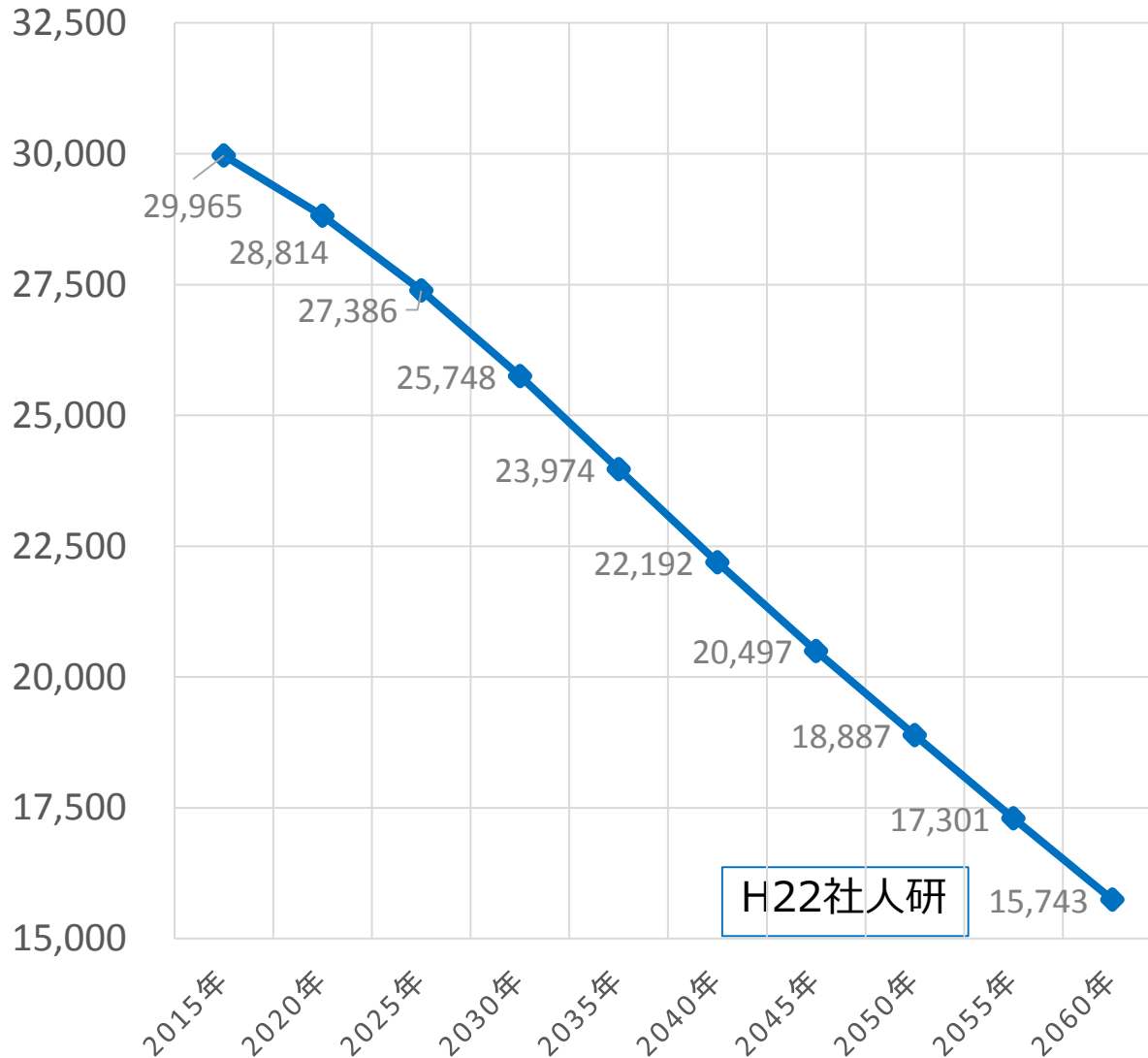
10代後半～20代後半に転出するが、30代になったときに家族になって転入する



(出典：各年国勢調査)

4. 現行の人口ビジョンの推計方法

稲美町の人口ビジョンの考え方

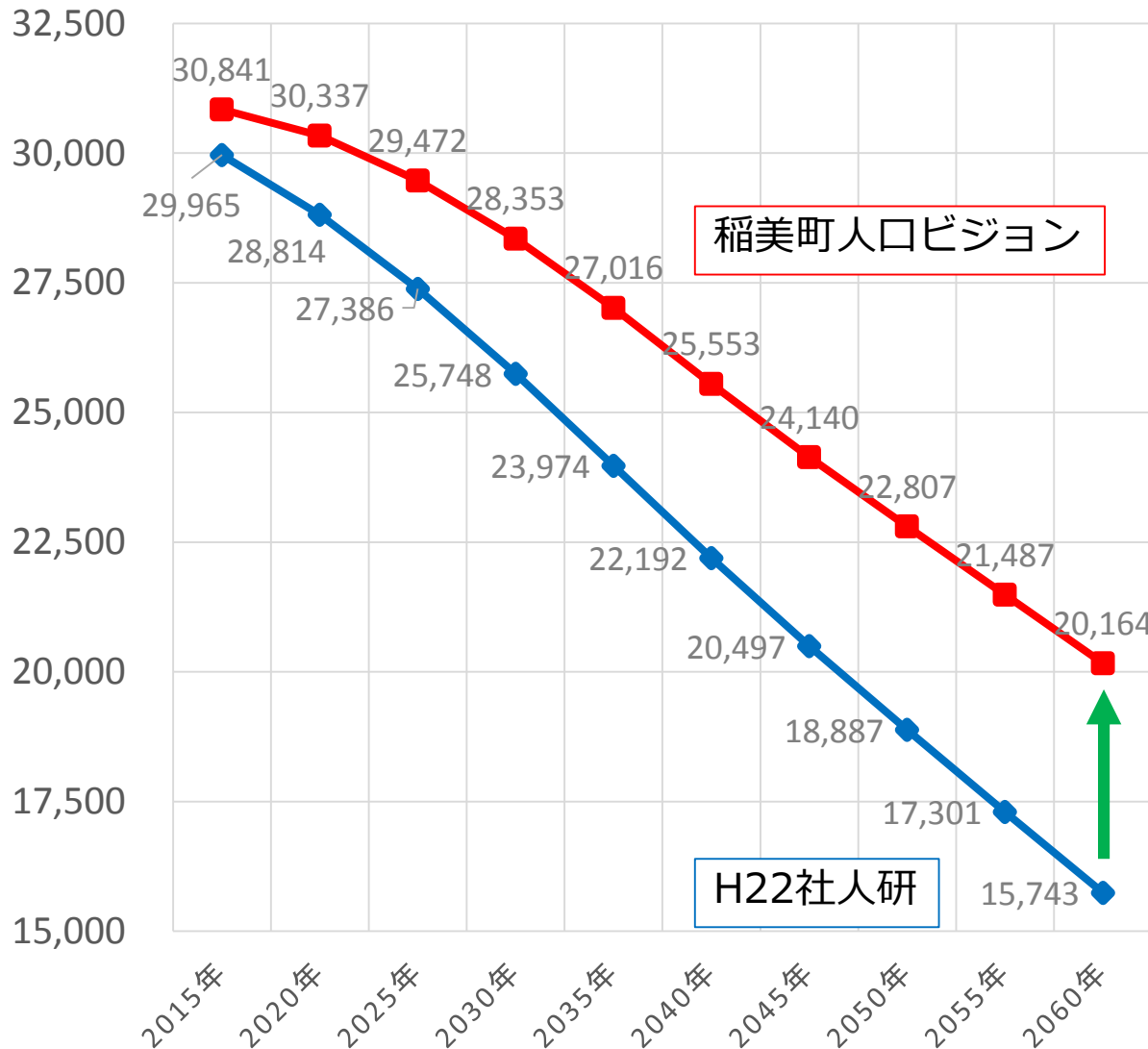


平成22年の国勢調査を
ベースに社人研が推計

**2060年には
人口が半分程度に**

4. 現行の人口ビジョンの推計方法

稲美町の人口ビジョンの考え方



【目標】

子ども女性比：0.1865
合計特殊出生率：1.4以上
転入超過者数：年60人

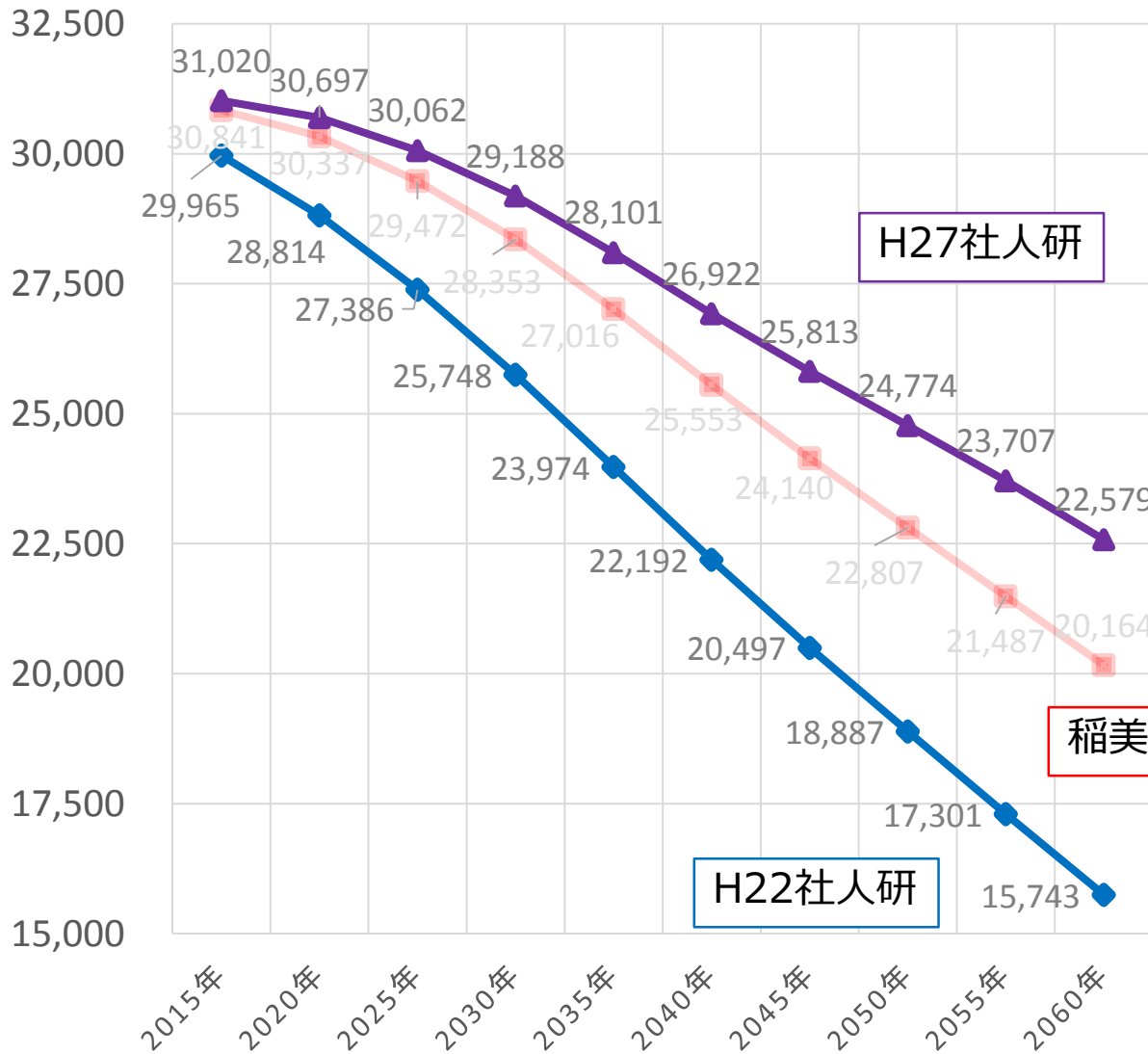
**2060年に
人口2万人を目指す**

H22社人研推計に

- ・ 毎年60人の転入超過
- ・ 5年ごとに28人の出生数の増加

4. 現行の人口ビジョンの推計方法

稲美町の人口ビジョンの考え方



方針

今回は計画期間の延長であるため人口ビジョンは据え置き、来年度以降に策定する、総合計画にあわせて人口の推計ならびに検討を行う

稲美町人口ビジョン

H22社人研

H27社人研

5. 戦略の考え方

総合戦略の構成

稲美町総合戦略は、町の**人口ビジョンの実現化を図るため**、戦略の基本的な考え方とその考え方から導き出された基本戦略および基本目標（数値目標）を設定する。

また、基本目標に従って講ずべき具体的な施策の内容を設定し、その施策の達成度を測る重要業績評価指標（K P I）を設定する。

総合戦略	
① 基本的な考え方	・ 人口ビジョンを踏まえた基本的な考え方
② 基本戦略	・ 基本的な考え方に基づく戦略
③ 基本目標	・ 政策を導入する目標の設定 ・ 政策の数値目標の設定
④ 具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）	・ 施策の内容 ・ 施策の目標の達成度合いを計る定量的な指標の設定 ※実現すべき成果（アウトカム）に係る数値目標を設定（定性目標の場合は客観的な指標を設定）

5. 戦略の考え方

① 総合戦略の基本的な考え方

- 1 地域の特性を活かした産業の振興を図り、就業の場を増やす。
- 2 転出を抑え、若い世代を中心とした転入を促進することにより、転入超過を図る。
- 3 安心して結婚・出産・子育てができる環境を整備する。
- 4 稲美町の魅力を発信するとともに、安全・安心な生活基盤づくりを進める。

② 基本戦略

～ 夢と希望をかなえる稲美のくらしの創生 ～

5. 戦略の考え方

③ 総合戦略の基本目標	④ 政策
【基本目標 1】 稲美町における安定した雇用を創出する	(1) 希望や生きがいをかなえる働き方の創出 (2) 地域特性を活かした農業の振興 (3) 活力のある商工業の振興
【基本目標 2】 稲美町への新しいひとの流れをつくる	(1) 移住の推進 (2) ふるさと意識の醸成
【基本目標 3】 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	(1) 安心して結婚ができる社会の実現 (2) 安心して出産・子育てができる社会の実現
【基本目標 4】 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する	(1) にぎわいのある交流と観光の推進 (2) 安全安心で快適な暮らしの実現 (3) 地域資源の活用 (4) 住民協働によるまちづくりの推進 (5) 広域的な連携の推進

5. 戦略の考え方

③ 総合戦略の基本目標

【基本目標1】 稲美町における安定した雇用を創出する

稲美町に常住する就業者数：**15,000人**（令和2年国勢調査）

参考：平成22年国勢調査14,391人

【基本目標2】 稲美町への新しいひとの流れをつくる

転入超過者数：**300人**（平成29年度～令和3年度までの累計）

参考：平成22年度～平成26年度までの累計163人

【基本目標3】 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

子ども女性比：**0.22以上**（令和2年国勢調査）

参考：平成22年国勢調査0.1865

【基本目標4】 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、
地域と地域を連携する

稲美町の居住性について『住みよい』と回答した方の割合：**25.0%**

（令和2年度住民意向調査）

参考：平成21年度22.4%

5. 戦略の考え方

④ 具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）

(1) 希望や生きがいをかなえる働き方の創出

若者や女性が働きがいを感じる職業・職場に就くことができるよう、企業情報を提供するとともに、より高い資格・能力を身につけようとする希望に添うよう支援を行う。

施策	主な事業	
①若者の雇用・就業促進 ・若者の就業を支援し、企業への就職率向上を図る。	・町内企業就業セミナーへの支援 ・地元企業のPR事業への支援 ・ものづくりツアーへの支援	
重要業績評価指標（K P I）	基準年と基準値	目標年と目標値
■若者（25～39歳）の就業者数	4,331人 (平成22年国勢調査)	4,400人 (令和2年国勢調査)

基本目標

数値目標・・・4項目

施策

K P I・・・30項目

5. 戦略の考え方

④ 具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）

【目標年、数値目標・KPIの修正内容】

	目標値数	最新の数値の達成状況	
		達成	未達成
達成に伴う再設定	10	10	
現状維持	19	5	14
計画に基づく変更	5	4	1

達成に伴う再設定：目標値を達成しているため、より高い目標を設定するもの。

現状維持：主に目標未達成のもの。また、目標の変更が適さないもの。

計画に基づく変更：担当課等の計画で別途目標値が定められているもの

基本目標

数値目標 … 4項目

施策

K P I … 30項目